

化学肥料低減計画書 記入例と説明

②支援対象の肥料を使用する作物の作付面積の計を記載、
その中で最も面積が多い作物と、その作付面積を記入。

<作付概要>	
作物名	作付面積(ha)
水稻	6.0
その他	4.0
計	10.0

(ア)合計面積の過半を占める作物がある場合
その作物と作付面積を、それ以外の作付
面積を「その他」に記載してください。

<作付概要>	
作物名	作付面積(ha)
水稻	4.0
白ねぎ	3.0
その他	3.0
計	10.0

(イ)合計面積の過半を占める作物がない場合
作付面積の多い作物を2種分記載、
残りはその他に記載してください。

①秋用と春用を別々に作成する
ため、どちらかに○

化学肥料低減計画書

<作付概要>	
作物名	作付面積(ha)
○○○	
○○○	
その他	
計	

<対象肥料>	
秋用	春用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※いずれかに○を付けてください

氏名(法人・組織名) ○○ ○○
住所 ○○町 ○○○ ○○○番地
電話番号 0859-xx-xxxx

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付けてください。
2. 「令和4年度又は令和5年度」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー		前年度までの 取組	令和4年度又は 令和5年度 の取組
ア 土壌診断による施肥設計			○
イ			
ウ			
エ		○	○
オ			
カ			
キ			
ク		○	◎
ケ			
コ			
サ 可変施肥機の利用(トラクタの活用等も含む)			米○ ね○
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用			
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用			
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し (ア～スに係るものを除く。)			
ソ 地域特認技術の利用()			

③取組メニュー2つ以上選択して○を記載
前年度までに既に2つ以上取組を行っている場
合は、新しい取組を1つ以上追加、または従来の取
組の強化・拡大を実施し、◎をつけてください。

※②で(イ)のとき、取組メニューが作物によって異なる場合は、
それぞれについて取組欄に○を記載。その際、作物名の頭文字
を○の横に記載してください。

①当年肥料費を記載してください。⇒私の当年肥料費は合計 ○○,○○○ 円です。

②チェック欄にチェック(✓)した上で署名してください。
私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について、以下のとおり確約します。

- | チェック欄 |
|-------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> |
1. 記載の肥料は令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、
 2. 本計画書及びその他の提出書類について、必要に応じて関係機関
 3. 本事業に係る報告や立入り調査について、事業実施主体等から協
 4. 取組を実施したことが確認できる資料や写真等の証拠書類につ
 5. 以下の場合には支援金を返還すること、又は、交付されないことについて異存ありません。
ア 本計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合
イ 正当な理由がなく、本計画書に記載した取組を実施していないことが判明した場合

④支援金受給の対象となる秋用
肥料または春用肥料の購入額を
記入してください(税込)

氏名(自署) ○○ ○○

⑥氏名を自署することで、✓した
内容を誓約したことになります

⑤1.~5.までの内容を確認し、内容に同意する
場合はチェック欄に☑を記入してください
同意が無い場合、申請は受け付けられません

(注1) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月~10月、春用肥料については令和4年11月~令和5年2月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)を提出すること。ただし、肥料の種類、根拠資料(レシート等)を提出する際は、本紙裏提出すること。